

入札公告

次のとおり一般競争入札に付します。

令和8年5月27日

国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産技術研究所南勢拠点長事務取扱 正岡 哲治

1. 調達内容

- (1) 調達件名及び数量 南伊豆庁舎屋外海水ろ過設備ろ材交換業務 一式
- (2) 調達仕様 入札説明書による。
- (3) 履行期限 令和8年10月31日
- (4) 履行場所 静岡県賀茂郡南伊豆町石廊崎183-2
国立研究開発法人水産研究・教育機構南伊豆庁舎
- (5) 入札方法 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に当該金額の100分の10に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。

2. 競争参加資格

- (1) 国立研究開発法人水産研究・教育機構契約事務取扱規程（平成13年4月1日付け13水研第65号）第12条第1項及び第13条の規定に該当しない者であること。
- (2) 令和7・8・9年度国立研究開発法人水産研究・教育機構競争参加資格又は全省庁統一資格の「役務の提供等」の業種「建物管理等各種保守管理」で「A」、「B」、「C」又は「D」いずれかの等級に格付けされている者であること。
- (3) 国立研究開発法人水産研究・教育機構理事長から物品の製造契約、物品の販売契約及び役務等契約指名停止措置要領に基づく指名停止を受けている期間中でないこと。
ただし、全省庁統一資格に格付けされている者である場合は、国の機関の同様の指名停止措置要領に基づく指名停止を受けている期間中でないこと。
- (4) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第32条第1項各号に掲げる者でないこと。

3. 入札説明書等の交付方法

競争参加希望者は、以下により入札説明書等（入札説明書、入札心得書、契約書案、入札書様式、委任状様式等）の交付を受けること。

① 直接交付

〒415-0156

静岡県賀茂郡南伊豆町石廊崎183-2

国立研究開発法人水産研究・教育機構

南伊豆庁舎管理チーム

電話 0558-65-1185

FAX 0558-65-1188

② 宅配便着払いによる交付

任意書式に「南伊豆庁舎屋外海水ろ過設備ろ材交換業務入札説明書宅配便にて希望」と記入し、社名、担当者名、住所、電話番号を記載のうえ、上記①あてFAX送信すること。

③ メールによる交付

任意書式に「南伊豆庁舎屋外海水ろ過設備ろ材交換業務入札説明書メールにて希望」と記入し、社名、担当者名、メールアドレス、電話番号を記載のうえ、上記①あてFAX送信すること。

4. 入札説明会の日時及び場所等

仕様書等に関し質疑がある場合には、令和8年6月1日までに上記3.あてにメール（アドレスは入札説明書に記載）又はファックスにて質疑を行うこと。当日までの質疑を取りまとめ、回答は入札説明書受領者全員に

対して行うとともに当機構のホームページにて公表することにより入札説明会に代える。なお、当該日以降に質疑が発生した場合も随時受け付け、同様に対応する。ただし、質疑内容に個人に関する情報であって特定の個人を識別し得る記述がある場合及び法人等の財産権等を侵害するおそれのある記述がある場合には、当該箇所を伏せ又は当該質疑を公表せず、質疑者のみに回答することがある。

6. 入札の日時及び場所等

- (1) 入札の日時及び場所 令和8年6月17日 14時00分
静岡県賀茂郡南伊豆町石廊崎183-2
国立研究開発法人水産研究・教育機構
南伊豆庁舎 本館 会議室
- (2) 郵便による入札書の受領期限及び提出場所 令和8年6月16日 17時00分
3. ①に同じ。

7. その他

- (1) 契約手続きにおいて使用する言語及び通貨 日本語及び日本国通貨。
- (2) 入札保証金及び契約保証金 免除。
- (3) 入札の無効 本公告に示した競争参加資格のない者の提出した入札書及び入札に関する条件に違反した入札書は無効とする。
- (4) 契約書作成の要否 要。
- (5) 落札者の決定方法 予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った入札者を落札者とする。
- (6) 競争参加者は、入札の際に国立研究開発法人水産研究・教育機構の資格審査結果通知書写し又は全省庁統一資格の資格審査結果通知書写しを提出すること。
- (7) 詳細は入札説明書による。

8. 契約に係る情報の公表

- (1) 公表の対象となる契約先
次の①及び②いずれにも該当する契約先
① 当機構において役員を経験した者（役員経験者）が再就職していること又は課長相当職以上の職を経験した者（課長相当職以上経験者）が役員、顧問等※注1として再就職していること
② 当機構との間の取引高が、総売上高又は事業収入の3分の1以上を占めていること※注2
- なお、「当機構」とは、改称前の独立行政法人水産総合研究センター及び国立研究開発法人水産総合研究センター、統合前の独立行政法人水産大学校を含みます。
※注1 「役員、顧問等」には、役員、顧問のほか、相談役その他いかなる名称を有する者であるかを問わず、経営や業務運営について、助言すること等により影響力を与えると認められる者を含む。
※注2 総売上高又は事業収入の額は、当該契約の締結日における直近の財務諸表に掲げられた額によることとし、取引高は当該財務諸表の対象事業年度における取引の実績による。
- (2) 公表する情報
上記(1)に該当する契約先について、契約ごとに、物品役務等の名称及び数量、契約締結日、契約先の名称、契約金額等と併せ、次に掲げる情報を公表する。
① 当機構の役員経験者及び課長相当職以上経験者（当機構OB）の人数、職名及び当機構における最終職名
② 当機構との間の取引高
③ 総売上高又は事業収入に占める当機構との間の取引高の割合が、次の区分のいずれか
3分の1以上2分の1未満、2分の1以上3分の2未満又は3分の2以上
④ 一者応札又は一者応募である場合はその旨
- (3) 当機構に提供していただく情報
① 契約締結日時点で在職している当機構OBに係る情報（人数、現在の職名及び当機構における最終職名等）
② 直近の事業年度における総売上高又は事業収入及び当機構との間の取引高

- (4) 公表日

契約締結日の翌日から起算して原則として72日以内（4月に締結した契約については原則として93日以内）

（5）その他

当機構ホームページ（契約に関する情報）に「国立研究開発法人水産研究・教育機構が行う契約に係る情報の公表について」が掲載されているのでご確認ください。また、所要の情報の当機構への提供及び情報の公表に同意の上で、応札若しくは応募又は契約の締結を行っていただくようご理解とご協力をお願いいたします。なお、応札若しくは応募又は契約の締結をもちまして、ご了知願います。

9. 公的研究費の不正防止にかかる「誓約書」の提出について

当機構では、国より示された「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」（平成19年2月15日文部科学大臣決定）に沿って、公的研究費の契約等における不正防止の取り組みを行っており、取り組みのひとつとして、取引先の皆様に「国立研究開発法人水産研究・教育機構との契約等にあたっての注意事項」（URL：https://www.fra.go.jp/home/keiyaku/files/pledge_requestnote_contract2.pdf）をご理解いただき、一定金額以上の契約に際して、当該注意事項を遵守する旨の「誓約書」の提出をお願いしています。

公的研究費の不正防止関係書類（①公的研究費の不正防止にかかる「誓約書」の提出について、②国立研究開発法人水産研究・教育機構との契約等にあたっての注意事項、③誓約書）は、入札説明書に添付しますので、契約相手方となった場合は、誓約書の提出をお願いします。

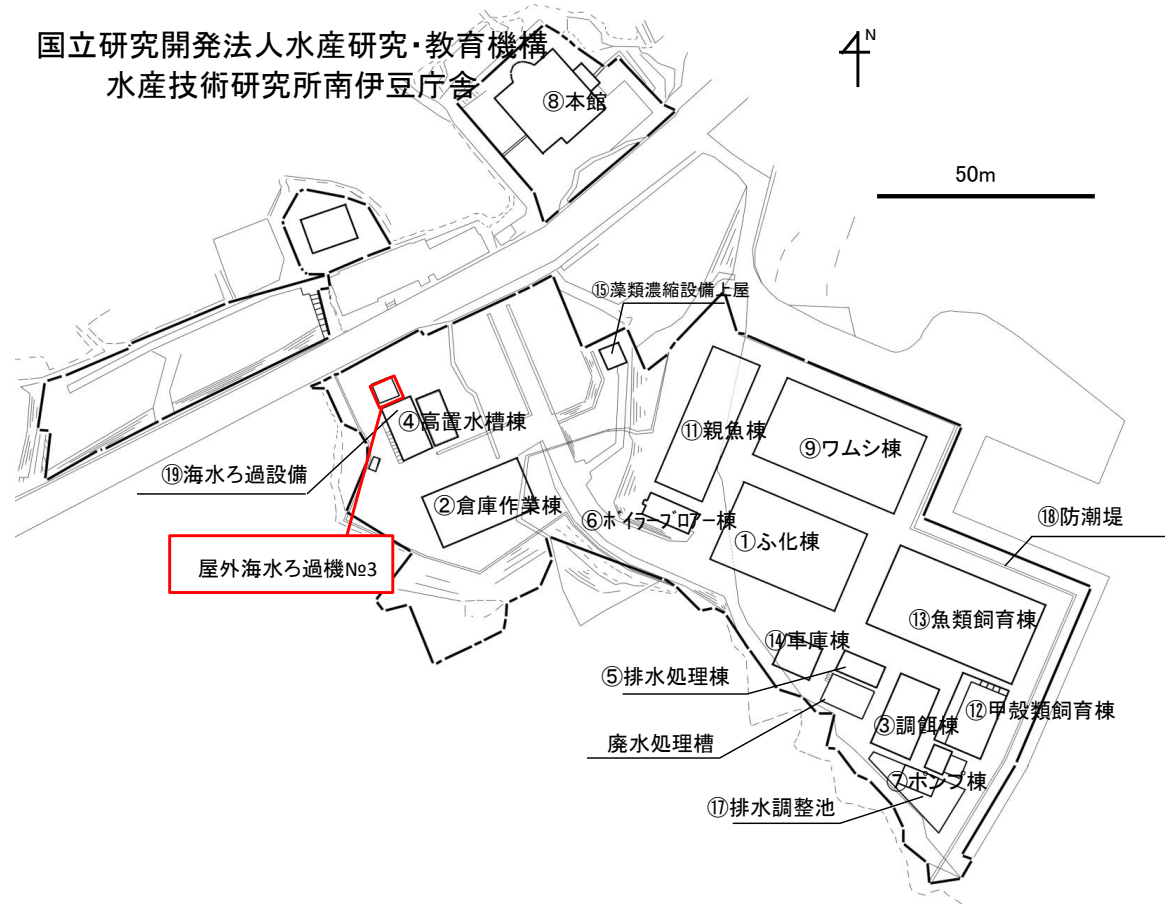
なお、当機構の本部、研究所、開発調査センター、水産大学校いずれか1箇所に1回提出していただければ、当機構内の次回以降の契約では再提出する必要はありません。

業 務 仕 様 書

1. 件 名 南伊豆庁舎屋外海水ろ過設備ろ材交換業務
2. 業務目的 屋外海水ろ過設備について、前回のろ材交換から 10 年が経過したため、ろ過機内部のろ材を交換によりろ過機能を維持することを目的とする。
3. 業務場所 静岡県賀茂郡南伊豆町石廊崎183-2
国立研究開発法人水産研究・教育機構 南伊豆庁舎
4. 履行期限 令和 8 年 10 月 31 日
5. 業務内容
 - 1) 屋外海水ろ過機No.3 (ヤンマー FRP 製自動逆洗砂ろ過機 ST3000) 内部のろ過砂およびストレーナーを取り出し、ろ過室内部を洗浄する。
屋外海水ろ過機の仕様については別紙参照のこと。
 - 2) ろ過室内部のストレーナーを交換する。
 - ・ストレーナー：ヤンマー ポリプロピレン製 FST 型砂ろ過機用
・・・176 セット
 - 3) ろ過室から取り出したろ過砂を洗浄し混入物などを除去し再利用すること。その後、ろ過室底面から約 600mm の高さになるまで、洗浄したろ過砂をろ過室に投入する。
なお、当所支給品のろ過砂 20 袋 (20L) を使用すること。不足する場合はろ過砂を追加すること。
 - ・支給補充用ろ過砂：珪砂 有効径 0.5mm 均等係数 1.4
(日本水道協会規格 JWWA A 103:2006-2 認証品)・・・0.4 m³
 - 4) ろ過室と集水室の点検口マンホールパッキンを交換する。
 - ・マンホールパッキン：JIS5K 呼び径 500A 厚さ 8t・・・2 枚
 - 5) 交換終了後注水を行い、設備が正常に稼働することを確認する。
 - 6) 本業務で発生した廃材等は、構外に搬出し関係法令等に従い適切に処理すること。

6. その他
- 1) 業務において使用する水及び電力は、既存施設から無償で利用できるものとする。
 - 2) 本業務に必要な資材等は全て契約締結業者が手配すること。
 - 3) 業務の際は、建物、設備に損傷を与えないよう細心の注意を払うとともに、担当職員からの指示以外の場所には立ち入らないこと。
 - 4) 業務の各工程においては写真撮影を行うものとし、業務終了後に各工程の写真を取りまとめた報告書2部を提出すること。
 - 5) 詳細については担当職員の指示に従うこと。

国立研究開発法人水産研究・教育機構
水産技術研究所南伊豆庁舎

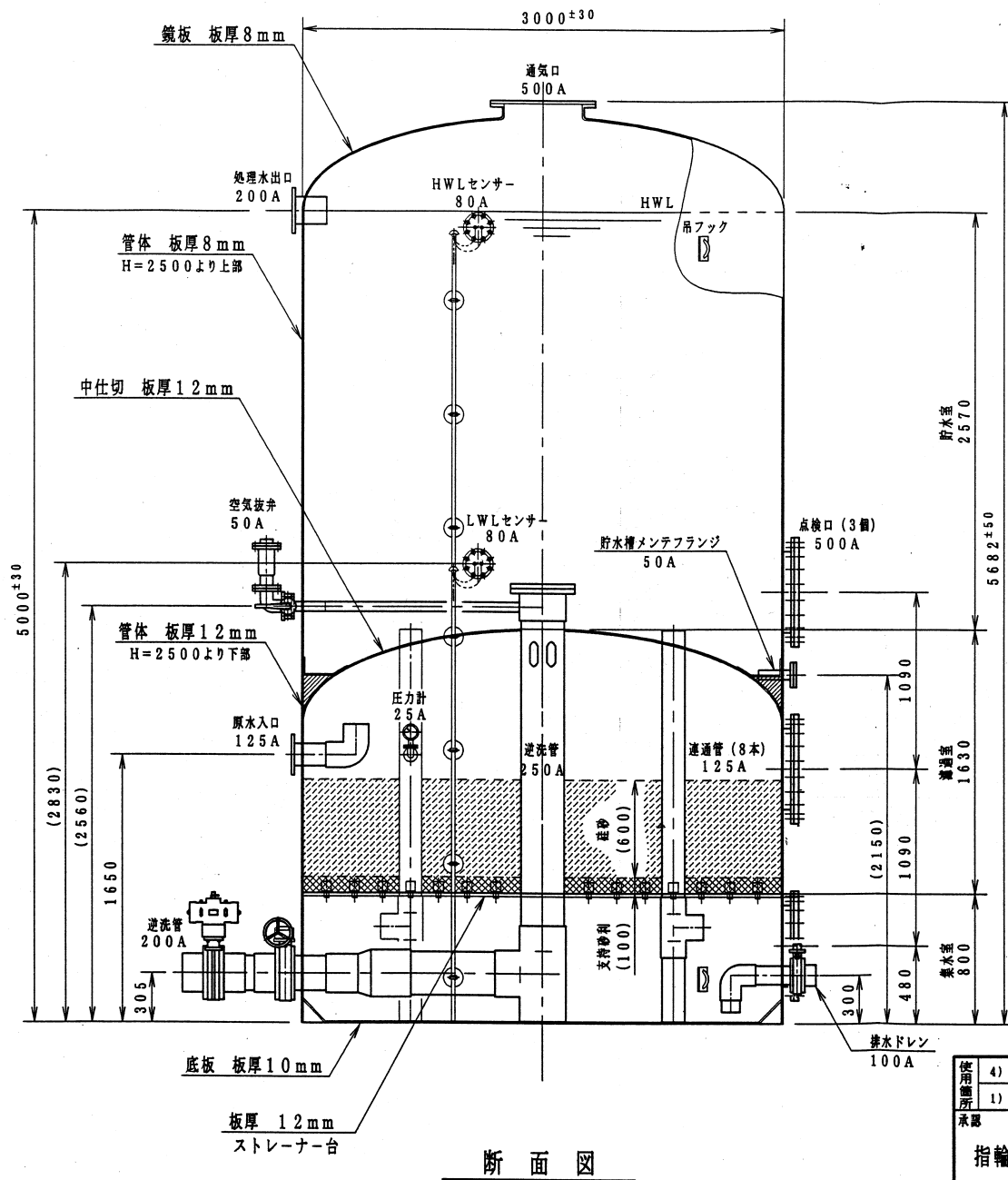


敷地の概要

建物面積	3,930.07㎡(延4,434.88㎡)
敷地面積	14821.96 ㎡
土地区分	
所有地	5918.22 ㎡
静岡県借地	6496.01 ㎡
南伊豆町借地	2407.73 ㎡

主要施設概要

図中番号	資産番号	資産名	構造(仕様)など	面積	延べ面積
①	GSMN 058	ふ化棟	工場建/S/平屋建	640.00 ㎡	640.00 ㎡
②	GSMN 069	倉庫・作業棟	工場建/S/平屋建	312.00 ㎡	312.00 ㎡
③	GSMN 080	調餌棟	工場建/RC/平屋建	180.00 ㎡	180.00 ㎡
④	GSMN 091	高置水槽棟	雑屋建/RC/二階建	101.25 ㎡	202.50 ㎡
⑤	GSMN 103	排水処理棟	雑屋建/RC/平屋建	57.97 ㎡	57.97 ㎡
⑥	GSMN 110	ホイン・フロア棟	雑屋建/RC/平屋建	66.00 ㎡	66.00 ㎡
⑦	YK-A08000 00000318	ホンプ棟	雑屋建/RC/平屋建	39.60 ㎡	39.60 ㎡
⑧	GSMN 132	本館	事務所建/RC/二階建	224.84 ㎡	543.36 ㎡
⑨	GSMN 148	ワムシ棟	工場建/S/平屋建	720.00 ㎡	720.00 ㎡
⑩	GSMN 173	親魚棟	工場建/S/平屋建	420.00 ㎡	420.00 ㎡
⑪	GSMN 195	甲殻類飼育棟	工場建/S/二階建	202.96 ㎡	288.00 ㎡
⑫	GSMN 209	魚類飼育棟	工場建/S/平屋建	767.00 ㎡	767.00 ㎡
⑬	GSMN 218	車庫棟	雑屋建/RC/平屋建	73.63 ㎡	73.63 ㎡
⑭	GSMN 220	藻類濃縮設備上屋	工場建/S/平屋建	25.75 ㎡	25.75 ㎡
⑰	GSMN 022	排水調整池	構築物/池井(RC)	153 ㎡	153 ㎡
⑱	GSMN 031	防潮堤	構築物/土留(鉄骨RC)	153 m	153 m
	GSMN 013	開きよ、共同溝	構築物/下水(CB)	285 m	285 m
⑲	YK-A08000 00000326	海水ろ過設備	構築物/FRP製	60.50 ㎡	60.50 ㎡

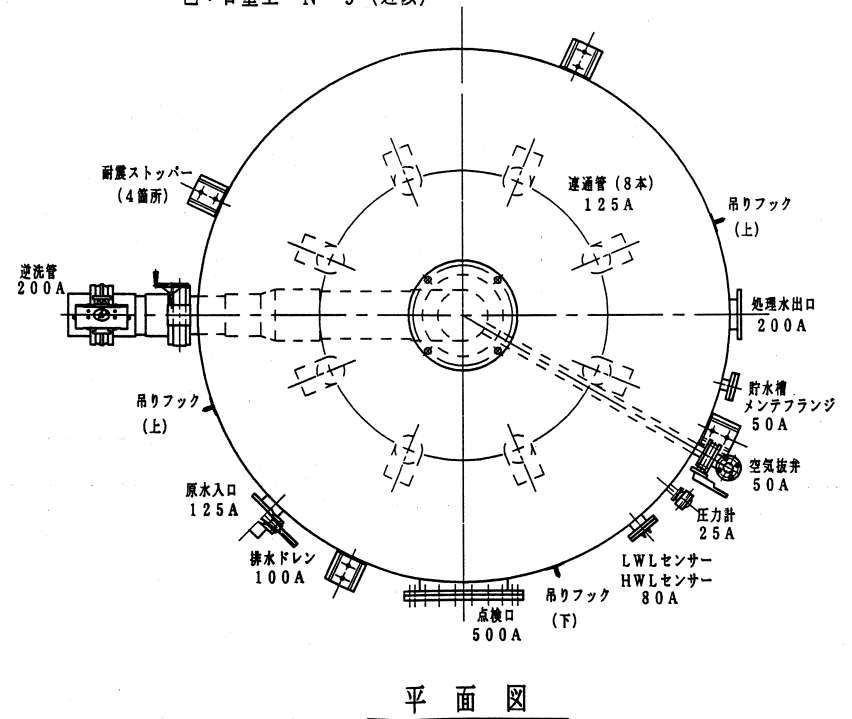


断面図

*本図の配管類は高さのみを示しており、方向は平面図に記載。

	仕様	
濾過機本体	FRP製屋外仕様 (ST3000)	1式
濾過材	珪砂(粒径0.6mm) 支持砂利(粒径2~3mm)	1式
濾床	FRPストレーナー台	1式
点検口	FRPフランジ φ500×5kg/cm ²	3ヶ所
逆洗管	VP管 FRP管 エア式バタ弁 ギア式バタ弁	1式
アンカーボルト	SUS304	1式
吊りフック	SUS304	1式
耐震ストッパー	SUS304	4ヶ所

色：日塗工 N-9 (近似)



平面図

使用箇所	4) 1)	5) 2)	6) 3)	工事No.	12-栽培漁業センターろ過設備増設工事	
指輪	大沼	⑤	④	尺度	1:30	製作数
検図	製図	③	②	材質		
笹谷	竹国	①	①	日付	2001年 2月 7日	
		末履		名称	ST3000 自動逆洗砂濾過機	
YANMAR SHIPBUILDING & ENGINEERING Co., LTD.				コード	7.3.0.4-3.3.0.1.0.1 B	

(1) 屋外海水ろ過機No.3 正面外観



(2) 屋外海水ろ過機No.3 側面外観

